

## 行を追加・削除すると自動更新される連番を作る

エクセルで名簿や住所録を作成するときに行に下のように「1」、「2」、「3」... と連番を付けます。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ビラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

ここで4行目にある「宮本 幸男」さんを削除すると項番が「1」、「2」、「4」... となり「3」が欠番となります。また、逆に4行目の下に新しく追加すると、追加した行は項番なしの空き番となります。

欠番や空き番をなくすために番号の振り直しをする手間を掛けなければなりません。

この項番の振り直しをしなくても関数を使用して欠番、空き番を起さない方法があります。

関数というと難しそうに思えますが、簡単な関数を使うことで欠番や空き番を一々直す必要がなくなるのです。

そこで使う関数は、**ROW** (ロウ) 関数です。

**ROW** 関数は、『=ROW(セル参照)』と書き、「セル参照」の位置に記入されているセルの行番号が計算の結果として表示されます。『ROW()』と「セル参照」を記入しないとこの関数を記入したセルの行番号が表示されます。

実際に、セル [A3] に『ROW()』と入力します。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ビラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	
7	=ROW()				
8					

[Enter]キーを押すと

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	
7	7				

上図のようにセル {A 7} にその行番号である「7」が表示されます。しかし、セル [A 7] に欲しい数字は「5」の次の「6」です。セル [A 6] より上のところを見るとすべて行番号より「1」小さくなっています。これは、この表では、項番「1」が2行目より始まっているため、項番を表示するためには行番号より「1」を引くことが必要です。もし、項番「1」が4行目であれば、行番号より「3」引くことが必要です。

それでは、改めて「=ROW()-1」と入力します。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	
7	=ROW()-1				

[Enter]キーを押すと

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	
7	6				

とセル [A 7] には「6」が表示されます。

それでは、セル [A 2] に「=ROW()-1」と入力し、オートフィルでセル {A 6} までコピーします。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	=	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	ROW()	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	-1	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	
7	6				

数式がセル [A 6] までコピーされました。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	=ROW()-1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	=ROW()-1	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	=ROW()-1	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	=ROW()-1	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	=ROW()-1	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

項番が表示されました。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

削除する行番号 [4] を選択して

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	
7					
8					

削除すると

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4	3	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
5	4	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

となり項番が欠番となることはありません。

追加の行を 4 行目にすると

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ピラ白河521
4					
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

5 行目以下の項番が正しく付けられています。

ここで、4行目のセル [A 4] に「=ROW()-1」と入力して、以下 [氏名]、[郵便番号]、[住所 1]、[住所 2] を入力します。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ビラ白河521
4	=ROW()-1		509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

入力が終わると以下のように4行目の項番が「3」となります。

	A	B	C	D	E
1	項番	氏名	郵便番号	住所1	住所2
2	1	足立 三郎	381-0015	長野市香住5-4	香住荘5
3	2	村山 邦夫	961-0011	白河市久田野3-21	ビラ白河521
4	3	宮本 幸男	509-0131	岐阜県各務原市つつじが丘82	
5	4	児山 恵子	636-0061	奈良県生駒郡平群町緑ヶ丘120	
6	5	田中 友康	471-0822	愛知県豊田市永源町3-5-7	

関数を使用するというと難しいという思いがありますが、『ROW=0-1』と入力するだけで、項番の振り直しをする必要がなくなります。使ってみませんか。